中央っ子通信　　第２号　　令和６年５月３１日（金）

CS 志免町立志免中央小学校

「こころざし」「おもいやり」「ひらめき」の力を発揮した運動会

２５日（土）は、天気や風に恵まれ運動会を実施することができました。２２日（水）の運動会リハーサルでは、運動場テントの下に集まって他学年の演技を観ることに気持ちが高揚していた子供たちですが、次第に５・６年生の応援に合わせて一生懸命声を出す中央っ子の姿がありました。特に、１年生の玉入れ競技のとき上学年の子供たちが曲に合わせて一緒に歌ったり、赤白それぞれが団結して応援したりする様子があり、演技をしているときだけでなく応援席での様子も素晴らしかったです。また、前日まで係活動担当の教職員と一緒に準備を念入りにしてくれた６年生の働きかけもありました。約３週間「目標を設定し、粘り強く取り組む」「違いを認め、お互いを尊重する」「工夫する」ことを大切にしてきた中央っ子。６月からも、こうした力を更に伸ばすことができるよう、支援してまいります。

音楽委員会の演奏に合わせて、低学年の子供たちが校歌を校長室に聞こえるぐらい元気よく歌っていました。

運動会前日に６年生が会場清掃をしました。みんなが気持ちよく使うことができるよう、友達と協力していました。

会場清掃の後、運動会当日での演技補助についてみんなで確認をしました。当日、先を見通した動きができました

～ 子供たちの安全・安心を守る PTA 活動～

今年度も、PTA おやじの会にご参加くださったおうちの方々を中心に活動してくださったおかげで子供たちの安心・安全を守ることができました。今年度は、どの学年の子供たちも最後まで楽しめる運動会にしたいと考え、コロナ禍前に近い運動会プログラムに変更しました。そのため、おうちの方々の応援をより多く子供たちに届けることができるよう、おやじの会の皆様が前日・当日にお集まりくださり、控室として体育館と運動場テントを設営してくださいました。おうちの方々のご理解もあり、無事に運動会を実施することができましたことに感謝いたします。ありがとうございました。